

令和5年度第5回清瀬市社会教育委員の会議 議事録

令和5年度第5回清瀬市社会教育委員の会議が令和5年12月22日に開催された。
出席委員、議事の概要は次のとおり。

日 時 令和5年12月22日（金）午前9時30分から午前10時15分まで

開催場所 清瀬市役所本庁舎 2階 会議室2-3（対面開催、オンライン出席者有）

出席委員（対面参加）

倉持委員、齊藤委員、西田委員、玉置委員、相蘇委員

（オンライン参加）

松山委員、永嶋委員

事務局 生涯学習スポーツ課 山田課長、金子係長、上竹主査

次第1 開会

第5回社会教育委員の会議の開会を宣言。

事務局より

- ・開催方法の確認（対面開催、松山委員・永嶋委員はオンラインで参加）
- ・資料の確認

（事務局）

今回の会議は委員改選後の第1回目の会議となる。

清瀬市社会教育委員条例第3条に従い、令和5年11月1日～令和7年10月31日までの2年間、社会教育委員として委嘱。

～倉持委員が新任のため、各委員・事務局よりそれぞれ自己紹介～

（事務局）

本日の会議での変更点を説明。

会議後に社会教育委員へ向けた学習会を、倉持委員にお願いしている。この学習会は教育長、教育委員も出席したいとの要望から、学習会の前に、この後の懇談会会場に移動し、学習会を行う。そ

のため、当初会議を11時までとしていたが、10時15分ごろに会議を終了し、市民協働ルームに移動する。そのため、議題の(2)4ブロック研修会の発表テーマの検討と、(3)議題の選定については、時間の関係上、次回以降の議題とする可能性がある。

2 議題

(1) 議長・副議長の選任について

(事務局)

今回の会議は委員改選後の第1回目の会議となる。

清瀬市社会教育委員条例4条により、議長及び副議長は、委員の互選ということが定められている。議長の推薦があれば挙手をお願いしたい。

(齊藤委員)

倉持委員に議長をお願いできればと思う。

(一同、同意)

(事務局)

他の委員の方々の異議がないようなので、倉持委員に議長をお願いしたいと思う。

次に副議長についても互選となるため、務めていただける方に挙手していただくか、推薦をお願いしたい。

(西田委員)

前期で副議長を務められた齊藤委員にお願い出来ればと思う。

(一同、同意)

(事務局)

他の委員の方々の異議がないようなので、齊藤委員に副議長をお願いしたいと思う。

今期の議長には倉持委員、副議長には齊藤委員が選出された。お二人には今期の舵取りをお願いしたいと思う。

議題の(2)(3)の前に、3の報告等を先に行う。

3 報告等

(1) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会の報告について

(事務局)

1月22日および23日に、第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会が開催された。当日は齊藤副議長と、事務局から金子係長が参加。出席した齊藤副議長に感想などをお願いしたい。

(齊藤副議長)

第3分科会に参加した。テーマは今後求められる社会教育委員の役割。神奈川県愛川町と栃木県宇都宮市清原地区の2つの事例発表があった。

愛川町社会教育委員はパワフルで、それぞれのバックグラウンドの力を借りていた。皆で助け合っ一つの行事に参加していた。話し合いのグループの中に、愛川町の発表者がいて話を聞いた。後継者について苦慮していて、後任は一本釣りのように、人をよく見て粘り強く交渉しているとの話。

清原地区の事例発表は、メディアにも発表されていたが、新しく路面電車が導入されたと紹介。路面電車が通っている地域の活性化について説明があった。

(2) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の報告について

(事務局)

1月9日に、令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会が開催された。当日は、齊藤副議長が参加。出席した齊藤副議長に感想などをお願いしたい。

(齊藤副議長)

毎年12月開催。1～5ブロックの研修報告があった。調布市の社会教育計画の策定までの発表があった。発表者の鈴木氏は青山学院大学名誉教授。社会教育委員とはという話もあり、新たな刺激を受けた。

(事務局)

齊藤副議長の報告について、質問等はあるか。

(倉持議長)

当日は立川市の社会教育委員として参加していた。

来年、4ブロック会議の幹事市。立川市では準備が大変だったため、清瀬市で幹事市を行うときに活かせるようなものはあったか。

(齊藤副議長)

地域資源や人と人のつながりをテーマにしたものが何ブロックもあった。人材発掘についてはどこの自治体も難しく、これからの課題である。清瀬市でも同様。

2 議題

(2) 4ブロック研修会の発表テーマの検討

(事務局)

令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会・第4ブロック研修会は令和6年10月4日(金)に予定している。場所は清瀬市生涯学習センター・アミューホール。

早速、テーマの検討を始めたい。ここからは、倉持議長に進行をお願いする。

(倉持議長)

ブロック研修会の全体としてのテーマは来年度発表になるが、全体テーマに紐づけて各研修会のテーマを決めていく。担当市の問題意識、一緒に学びたいことをテーマにすることで意義のあるものになっていくと思う。

今日はテーマになりそうな種を各委員から出し合って、次回に繋げていこうと思う。

(西田委員)

子育て支援NPOに所属している。昨年の関東甲信越静社会教育研究大会では高齢化や地域の人材の掘り起こしがテーマとなった。人さえいれば出来ることのあるのに、と普段から思っている。ボランティア活動を通して、短期の参加は可能だが長期的な話しになると人手がいない。子どもといる時間、一緒に過ごせる時間を大切にしたい。担い手の中でもリーダーとなる人の育成やボランティアのモチベーションをどのように保つか。

(玉置委員)

部活動の外部講師の問題、市内のスポーツ施設の有効活用について話し合いたい。今年度の4ブロック研修会では東久留米市が川という資源について発表があった。当市のいいところを知ってもらいたい。

(相蘇委員)

文化協会が高齢化している。舞台に出たいけど、運営はしたくないという意見があった。高齢化した文化サークルは若い人に来てほしいと言いながらも、打ち合わせ会議が若い人の参加できない平日夜間に活動している。夫婦共働きの世帯には無理な話。それらの世帯が落ち着いたときに入れる環境作りが大事。どの世代も関わることのできる環境作りが重要。スポーツ団体の方が、子供が参加するところから繋がれるので可能性はあるのかと思う。

(松山委員)

新しい教育振興基本計画が閣議決定された。新しい計画を4ブロック研修会の方向性や課題に落とし込むような会があるといいと思う。まずは全体像を考え、共有することが大事。

(永嶋委員)

世帯数自体は増加しているが、少子高齢化、単独世帯、高齢世帯などの世帯数のみが増えている。異世代同士の交流ができない。3世代世帯が減少傾向にある。これは全国的な問題。高齢者と孫の世代との関わりがなくなってきたことで、社会教育として考えたときに学習の機会が減少している。家庭教育の現状はどうなのか。社会教育として考えたときに、子どもを含めた家族や取り囲む人たちの在り方を考えたテーマにしたい。

(斎藤委員)

コミュニティスクールについて、市内には2校が設置された。将来的に全14校に展開予定。人材の掘り起こし、部活の外部指導。学校を核とした、つながりをテーマにしたい。

(倉持議長)

複数のテーマを出してもらったので、これらをまとめて、挙げてもらったテーマを繋げるか、深堀していく。研修会のテーマとしては十分かと思う。

(その他・閉会)

(事務局)

今回の会議は令和6年2月19日(月)午前10時～12時、清瀬市役所本庁舎2階会議室2-4で予定している。

都市社連協・第2回理事会が令和6年2月13日(火)午後3時から開催予定で、事務局が出席予定。

(倉持議長)

これで令和5年度第5回清瀬市社会教育委員の会議を終了する。この後教育委員との懇談会がある。他の自治体では教育委員と話し合う機会を持っているところはほとんどない。活発な議論ができればと思う。

(事務局)

この後、倉持議長による学習会を行う。